

新年のごあいさつ

新年明けまして、おめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、昭和32年に旧浦郷町と旧黒木村が合併してから節目となる60周年を迎え、記念式典並びに記念イベントが盛大に開催されました。

振り返れば、甚大な自然災害、財政難など幾多の苦難な時期もありましたが、これまで本町の発展に尽力された先人の方々に対し深く敬意を表し、今後も更なる町政の発展を願うものであります。

また、4月からは「有人国境離島法」の成立に伴い、離島航路の運賃低廉化や輸送コストの軽減など離島での生活に不可欠な各種施策が予算化されました。今後も行政、関係機関とも連携を図りながら対象範囲の拡大や制度の拡充に向けて要望活動を行ってまいります。

一方、町政運営の指針である「第5次総合振興計画」が新年度から後期の5か年がスタートとなります。この町総合振興計画の実行には、住民・議会及び行政との協働によるまちづくりが重要と考えますので引き続きご協力をお願い致します。

そして本年夏頃には、本町の教育・文化の拠点施設として「コミュニティ図書館」が完成致します。この施設が様々な世代の学習や余暇の充実、町民の交流の場として積極的に利用されるよう願っております。

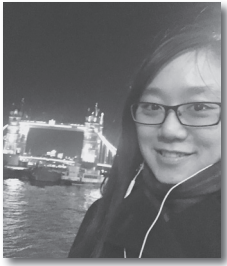
現在、本町は人口減少、少子・高齢化の進展などの課題も山積しておりますが、私たち議会も一層の研鑽を重ね、町民の皆様のご期待に答えるよう努力して参ります。今後共、ご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます新年のご挨拶と致します。

平成30年 元旦

西ノ島町議会議員 尾崎 満





国際交流員
ウォン・チンイン・クレオ

スコットランドのニューイヤー

寒い日が続きますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
今回は、私の大好きな国・スコットランドの話をしたいと思います。
スコットランドの12月はクリスマスだけではなく、「Hogmany (ホグマネイ)」と言うお祝いです。
日本のお正月とはまた少し違ったお祝いなので、ぜひ皆さんにも知っていただきたいです。

「Hogmany (ホグマネイ)」って何？

ホグマネイはスコットランド語で「大晦日」という意味で、スコットランドでの新年のお祝いです。ホグマネイの由来は諸説ありますが、遠い昔の北欧文化から伝わってきた風習と言われています。

昔のスコットランドはプロテスタントの国でしたので、ホグマネイはローマカトリック教会が祝うクリスマスより大事な祝日でした。

ホグマネイだけの独特の風習はありますか？

スコットランド全土にわたって、色々なホグマネイの習慣があります。
首都・エディンバラでは花火大会と松明行列のパレードが行われます。
また、グラスゴーやアバディーンなどの大きな町では昼夜にわたってイベントを行います。ハイランド地方（高地地方）と島嶼地方（とうしよ）では火の球転がしパレードや「Up Helly Aa」（アップ・ヘリー・アー）と言う火祭りがあります。



このようにホグマネイには、火を使う行事が多く行われています。これは、昔スコットランドに住んでいたバイキングやゲール人が『火は太陽を代表し、悪霊を退散できる』と信じていたことに由来しています。

他に何か風習がありますか？

現代ではあまりしていませんが、「First Footing (ファースト・フットイング)」と言う風習があります。ファースト・フットイングとは、新年になって初めて外から家に入ってくる人のことです。その人は石炭、塩、パンやショートブレッド、ウィスキー（不可欠!!）などを持って家に入り、好運も持ってくると言われていました。今は女性もできますが、昔は黒髪で身長の高い男性しかできませんでした！

また、新年の挨拶についてですが、日本の「あけましておめでとうございます」と同じように、ホグマネイの時は「Lang may yer lum reek (レング・メイ・イエ・ラム・リーク)」という健康で長生することを祈る言葉があります。

そして、「蛍の光」の原曲として知られている「Auld Lang Syne (オールド・ラング・サイン)」を歌います！



▲かわいい動物の形をしたショートブレッド

*** 国際交流員 Facebook ページ始めました！**

西ノ島町国際交流員

 検索

で検索してね！